

2006 年度

科目名	対象学科・学年 文学部教福 1 回生 教育教福 1 回生	担当者
教育原理		開沼 太郎
授業テーマ 教育学の基礎概念や学問的性格の理解をもとに、今日の家庭や学校、社会における教育活動の現状と課題を考える。		
授業の概要と目標 教育学の基礎概念について、史実や学説をもとに理解を深めながら、人間の生涯における教育の課題や可能性、限界について理論的側面からの検討を行う。同時に、昨今の教育改革や「いじめ」や「不登校」などに見られる学校教育現場の課題、新しい教育実践の潮流などを確認しながら、今日の家庭や学校、地域社会を取り巻く教育環境と現実に見られる諸問題を検討し、教育学的課題を考察する。		
評価方法 試験：40%程度、平常点（出席など）：30%程度、課題演習（発表や提出）：30%程度 を目安に総合評価を実施する。		
テキスト 講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。	著者	出版社
参考書 講義時に随時指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
題目	内容	
(01) ガイダンス	本講義の概要について	
(02) 教育活動の実際	今日の多様な教育形態の特色や相互関係の整理を中心に	
(03) 「教育」の概念	「教育」とは？「学習」とは？	
(04) 子どもの発達と教育のかかわり	発達のメカニズムと学習効果の関係について	
(05) 教育の史的展開 ①	思想や理論の歴史をもとに「教育」のあり方を考える	
(06) 教育の史的展開 ②	実践の歴史をもとに「教育」のあり方を考える	
(07) 教育の方法や指導の理論と実践 ①	教授・学習の理論や教育課程について	
(08) 教育の方法や指導の理論と実践 ②	メディアを活用した教育のあり方について	
(09) 学校教育制度体系と教育行政	学校教育の組織や法制度的側面、今日の教育行財政政策について	
(10) 学校教育の課題 ①	映像資料等をもとに学校教育の課題について考える	
(11) 学校教育の課題 ②	文献資料等をもとに学校教育の課題について考える	
(12) 学校教育の課題 ③	事例等をもとに学校教育の課題について考える	
(13) 学校と家庭・地域との連携	「学校教育」と「家庭教育」や「社会教育」との関わりを考える	
(14) 社会の変化への対応と教育	「少子高齢化社会」「国際化社会」「情報化社会」と教育改革の動向	
(15) まとめ	本講義のまとめ	
※ 講義では、コンピュータや携帯電話（情報端末）など、情報通信機器を積極的に活用する予定である。受講者には専門的な技術や知識は必要ないが、主体的かつ積極的な活用姿勢を望みたい。		